BUS DRIVER JOB INFORMATION

Driver's Interview vol.12

「バス運転手」という仕事。

函館バス株式会社
運転手 泉澤 一宮

函館バスの江差営業所に所属する泉澤一宮さんは、今年で入社16年目を迎えた。江差町で生まれ育ち、以前は資材の運搬等で4tトラックの運転をしていたため、大型車の扱いには慣れていた。「子どもの頃からバスが好きだったんです。いつか運転したいと思ってました。僕らは当時〝銀バス〟って呼んでましたけど、昔から近所を銀バスが走るところを見てきましたし、学生の頃も利用してました。だから、今こうして函館バスの制服を着て運転しているのは誇らしく思います」。

泉澤さんがドライバーとして日々心がけているのは、事故のない安全運転はもちろんのこと、乗客と丁寧に接することを念頭に置いて仕事をしている。「たまに応援勤務で1週間ほど函館市内の路線を走ることがあるんですが、やっぱり江差町よりも利用客の数が圧倒的に多いので、お客様と接する機会も増えますね。人と接するたびに改めて思うのは、僕らの仕事は生活に必要な存在なんだなと。それがいい緊張感にもつながりますし、やりがいにもなります」。

また、職場としての魅力については「なによりも有休がしっかりとれるところです。こんなにしっかり有休がとれていいんだろうかと思うくらい（笑）。希望通りの休みがとれる上に、勤務時間もはっきりしているので自分の時間や予定を大事にできる。それと職場の人間関係もいいし、なにかあったときに上司・同僚問わず相談しやすい環境なのも嬉しいです。同じことを思っている職員は結構いると思いますよ」。